

令和6年度 都市整備部長「政策宣言」達成状況

都市整備部長 小川 昌男

○ 令和6年度重要事業

事業名	安全・安心な道路交通の確保
目標	<p>地域を連絡する道路、生活に密着した道路の整備及び橋梁長寿命化等に取り組み、安全で安心して利用できる道路環境の確保に努めます。</p> <p>また、令和6年能登半島地震により被災した市道の復旧工事を推進し、早期復旧に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>市道朴木赤井線、新町八塚線（事業完了）の道路改良工事、駅南大橋、藤巻2号橋等の橋梁長寿命化工事及び市道赤井生源寺線、市道白石1号線、戸破177号線の舗装補修工事を実施しました。</p> <p>また、地震による災害復旧については、13箇所全ての災害査定を終え、8箇所の工事を発注し、4箇所の工事が完了しました。</p>
自己評価	<p>計画どおり事業を進めることができました。引き続き、道路改良、橋梁長寿命化、舗装補修及び災害復旧の各工事に取り組み、利便性向上や安全で快適な道路交通の確保に努めます。</p>

事業名	木造住宅及び被災住宅の耐震化促進
目標	<p>旧耐震基準で建てられた木造住宅は、大規模な地震が発生した際に被害が多く見受けられることから、引き続き、耐震化を促進し、災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>また、令和6年能登半島地震により被災した木造住宅の補強工事を支援することにより被災住宅の耐震化を促進し、建物の安全性の向上を図ります。</p>
年度末達成状況	<p>新たに補強設計にかかる費用を補助対象に加え、補助制度の拡充を図りました。今年度は、木造住宅の補強設計10件、耐震改修10件について補助を実施しました。また、能登半島地震により被災した木造住宅の耐震改修及び建替に対しても5件の補助を実施しました。</p>
自己評価	<p>市民の生命と財産を守るためには、安心・安全で災害に強い住環境を整えることが重要であり、引き続き、住家等の耐震性が向上する取組に対して支援を行っていきます。</p> <p>また、「耐震化」の必要性について普及啓発に努め、補助制度の利用促進を図ります。</p>

事業名	生活環境の充実
目 標	<p>良好な居住環境の保全、生活利便機能の維持等、地域社会の持続性を高める取組を総合的に展開します。</p> <p>また、多様な機能を有する公園施設の計画的な更新や補修等により、安全でくつろぎ憩える環境づくりを推進します。</p>
年 度 末 達 成 状 況	<p>小杉地区において、多様な居住者が住み続けられる魅力あるまちづくりを目標に都市再生整備計画を策定しました。</p> <p>また、公園施設長寿命化計画に基づき、遊具の更新や歌の森運動公園、大島中央公園の園路の改修工事を実施しました。</p>
自 己 評 価	<p>都市再生整備計画事業については、関係機関等と協議を進めるとともに、誰もが住みたい、住み続けたい安全で快適な環境づくりに努めます。</p> <p>公園施設については、安全かつ快適に楽しむことができるよう、引き続き、計画的な更新や補修に努めます。</p>